

2024

9.18 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_FemPclx0Ryqht48w7otkoQ

【技術支援】九州大学 Q-AOS

森林の計測：広大な森をどう測るか

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS コーディネーター)



Key Words

持続可能な森林経営

森林計測

森林減少

森林劣化

太田 徹志 准教授

農学研究院 環境農学部門



大分県出身。2011年に九州大学生物資源環境科学付にて博士（農学）を取得しました。九州大学農学研究院・学術研究員、九州大学持続可能な社会のための決断科学センター・助教などを経て、2020年に九州大学農学研究院・准教授に着任しました。持続可能な森林経営をテーマに、森林の計測方法や森林管理方法の評価に関して研究を行っています。

世界の陸地面積のおよそ 3 割を占める森林は、生物多様性や気候変動の緩和の観点で重要な役割を果たすと同時に人々の生活に欠かすことのできない資源を生み出します。そこで、森林の持つ機能を維持しつつ永続的に森林資源を利用するための持続的な森林管理が求められています。持続的な森林管理を実施するには、森の継続的なモニタリングが不可欠です。そこで問題となるのは広く分布する森林をどう測るのか？ということです。そこで今回の報告では 1 本 1 本の木の大きさの計測から広域に分布する森の計測まで、その手法を幅広く紹介します。